

事業評価の手法について

【事業】ごとに【行政の活動目標】に該当する項目について、下記により「自己評価」と「今後の方向性」を表示しています。【事業】ごとに表示された「自己評価」及び「今後の方向性」をまとめて表示し、平均点を当該年度における「総合評価」として表示しています。

「行政の活動目標」

① 市民が文化芸術に触れられる場や機会の提供 人々の心を豊かにし、創造性や感性を刺激するため、すべての人が文化芸術に触れられる場や機会を提供します。
② 市民が個性や感性を發揮できる場の提供 多様な個性や感性を引き出し、成長と自己実現を促す機会や場を提供し、積極的に活用します。
③ 社会参加や仲間づくり、多世代・多文化の人々との交流の促進 人々をつなぐコミュニケーションツール、もしくは、場とするため、市民が文化芸術活動に参加しやすい環境を整備し、多世代・多文化の人々との交流を促進します。
④ 想定外の災害時でも持続可能な文化芸術活動の促進 想定外の災害時においても、継続的な文化芸術事業の実施に努めます。また、市民の活動においても、災害による中断を抑え、持続可能な活動を促します。
⑤ 古賀の「たから」への理解と魅力の発見、発掘 古賀市の誇れる「たから」を未来へ伝えていくことに努め、また、市民が「たから」への理解を深め、その魅力を発見できるように促します。
⑥ 古賀の「たから」の魅力を未来へ伝える人材の育成 古賀の「たから」の魅力を継続的に伝えていくための担い手となる人材の育成に努めます。

古賀の「たから」  
市民が文化芸術に触れる機会(場)や文化芸術活動を促進する環境、文化芸術(美術・音楽・演劇・伝統芸能等)、文化財、自然景観、まち並み、また、それらに関わる人を指します。

「自己評価」

【事業】に係る自己評価を下記の評価基準により表示しています。

4	効果が上がっている
3	概ね効果が上がっている
2	あまり効果が上がっていない
1	改善の必要がある

「今後の方向性」

【事業】に係る方向性を下記の基準により表示しています。

拡充
維持
見直し
廃止、終了



※数字は例です。

「行政の活動目標」

事業数

①	市民が文化芸術に触れられる場や機会の提供	5
②	市民が個性や感性を発揮できる場の提供	5
③	社会参加や仲間づくり、多世代・多文化の人々との交流の促進	3
④	想定外の災害時でも持続可能な文化芸術活動の促進	4
⑤	古賀の「たから」への理解と魅力の発見、発掘	4
⑥	古賀の「たから」の魅力を未来へ伝える人材の育成	3

「自己評価」

評価値

事業数

評価

効果が上がっている	4	2	3.2
概ね効果が上がっている	3	2	
あまり効果が上がっていない	2	1	
改善の必要がある	1	-	

「今後の方向性」

事業数

拡充	1
維持	3
見直し	1
廃止、終了	-



「市民の文化芸術活動ビジョン」

事業数

事業総数

%

①	文化芸術に関心を持ち、心豊かに学び、文化芸術に触れる機会を増やそう。	5	24	21%
②	市や団体等の文化芸術活動に参加し、個性や能力を発揮しよう。	5		21%
③	文化芸術活動を通じて、新たな仲間をつくり社会や多世代の人々と積極的に交流し、それらの活動を次世代に継承しよう。	3		13%
④	予期しない災害が発生したときでも、新たな発想で仲間と協力しながら文化芸術活動を続けよう。	4		17%
⑤	古賀市の文化財への理解を深め、ふるさとへの愛着や誇りをもとう。	4		17%
⑥	古賀市の文化芸術や文化財の魅力を発見し、未来に伝えよう。	3		13%